

国際医療学講座 (感染制御部を含む)

著 書

- 1 青木洋介：発疹チフス. 今日の治療指針2016 236-237. 医学書院. 東京 2016.
- 2 青木洋介：感染症. カラーで学べる病理学 第7章 85-95. ヌーヴェルヒロカワ. 東京 2016.
- 3 青木洋介：2015～2016年シーズンのインフルエンザ流行レベルマップ推移からの考察と過去10年間の流行状況比較. プライマリケアのためのインフルエンザ診療 2016-2017. 医薬ジャーナル社. 大阪 2016.
- 4 浦上宗治, 青木洋介：薬剤熱への対応. 薬局・薬剤師のための抗菌薬攻略ガイド. じほう. 東京 2016.
- 5 ○Mikasa K, Aoki N, Aoki Y, Abe S, et al (分担執筆)：JAID/JSC Guidelines for Treatment of Respiratory Infectious Disease. J Infect Chemother 22. S1-S65. 日本感染症学会・日本化学療法学会. 東京 2016.
- 6 浦上宗治：ポリコナゾール中毒を疑い TDM を実施した症例. 臨床現場で役立つ！実例から学ぶ TDM のエッセンス 143-150. じほう. 東京 2016.
- 7 浦上宗治：ポリコナゾール開始後に肝胆道系酵素の上昇を認めた症例. 臨床現場で役立つ！実例から学ぶ TDM のエッセンス 200-203. じほう. 東京 2016.
- 8 ○二木芳人, 川上和義, 丸山貴也, 池松秀之, 青木洋介, 渡辺 浩 (分担執筆)：成人予防接種のガイドランス 2016年改定版. 日本内科学会誌 105, 1472-1488. 日本内科学会. 東京 2016.

原著論文

- 1 ○Fujii S, Hara M, Nonaka S, Ishikawa S, Aoki Y, Anzai K, Morita S, Fujimoto K, Mawatari M: Infectious disease during hospitalization is the major causative factor for prolonged hospitalization: multivariate analysis of diagnosis procedure combination (DPC) data of 20,876 cases in Japan. J Clin Biochem Nutr 59: 49-52, 2016.

総 説

- 1 青木洋介：診断の意思決定における重要な要素. 臨床泌尿器科 70, 592-597, 2016.
- 2 青木洋介：長期症状を有する患者の検査・診断－感染症か非感染症かを的確に判別するために. 感染と抗菌薬 19, 99-105, 2016.
- 3 青木洋介：異型肺炎の考え方, 捉え方. 呼吸器内科 31, 127-132, 2016.
- 4 青木洋介：ファビピラビルの臨床的位置付けとエボラウイルスへの有用性. インフルエンザ 18, 25, 2016.
- 5 青木洋介：2015～2016年シーズンのインフルエンザ流行レベルマップ推移からの考察と過去10年間の流行状況比較. プライマリケアのためのインフルエンザ診療 2016-2017, 2016.
- 6 青木洋介：高齢者結核の特徴とその対応. 日本医師会雑誌.
- 7 青木洋介：抗菌薬処方 of 行動科学的背景についての論考. 化学療法の領域 32, 22-24, 2016.
- 8 青木洋介：新ガイドラインから見えてくる AST の目的. AST Tomorrow 1, 01-07, 2016.
- 9 浦上宗治, 青木洋介：Antibiotic stewardship program の現状と方向性. 感染症 46(3)：1-8, 2016.

- 10 濱田洋平, 青木洋介: いま知っておきたい, 感染症診療最新の動向 感染症を診る時の基本的考え方. 診断と治療 104, 6, 660-665, 2016.

学会発表

国内全国規模の学会

- 1 青木洋介: Young Investigator レクチャー 3 (司会). 第90回日本感染症学会総会・学術講演会. 2016, 4, 15, 16. 感染症学雑誌 90, 216.
- 2 青木洋介: 日常検査において医師から検査に望むこと. 第27回日本臨床微生物学会. 2016, 1, 29, 30. 日本臨床微生物学会誌 26, 105.
- 3 青木洋介: 感染制御と治療. 第226回 ICD 講習会. 2016, 2, 20. 講習要旨集.
- 4 青木洋介: 呼吸器感染症の Antimicrobial stewardship. 日本呼吸器学会第37回生涯教育講演会. 2016, 4, 7. 11, 6. 講演用テキスト 83-95.
- 5 青木洋介: 新しい肺炎診療ガイドラインについて: 市中肺炎の診断. 第65回日本呼吸器病学会学術講演会. 2016, 4, 8~10. 日本呼吸器学会誌 5, C68.
- 6 青木洋介: Antimicrobial Stewardship: 抗菌薬の適正使用に向けて. 平成28年度 ICD 特別講習会. 2016, 11, 3.
- 7 青木洋介, 山本善裕: 我が国の MRSA 感染症の治療ガイドラインを再考する (シンポジウム司会). 第64回日本化学療法学会総会. 2016, 6, 9~11. 日本化学療法学会雑誌 14.
- 8 浦上宗治, 青木洋介 (司会): わが国の MRSA 感染症の治療ガイドライン (抗 MRSA 薬の使い分け) を再考する. 第64回日本化学療法学会総会. 2016, 6, 9-11. プログラム・抄録集 124.
- 9 浦上宗治, 濱田洋平, 曲淵裕樹, 青木洋介: ミノサイクリンによる広範囲な色素沈着を呈した2例. 第64回日本化学療法学会総会. 2016, 6, 9-11. プログラム・抄録集 187.
- 10 浦上宗治: 大学病院では AMS にどう取り組むべきかー感染制御部専従薬剤師としての活動ー. 第90回日本感染症学会総会. 2016, 4, 15-16. 感染症学雑誌, 90巻臨時増刊号 163.
- 11 濱田洋平, 山口浩樹, 浦上宗治, 曲淵裕樹, 於保恵, 永田正喜, 草場耕二, 福岡麻美, 永沢善三, 青木洋介: 感染症と教育卒後初期研修における感染症教育が病院全体の感染症診療の質に与える良い影響. 第90回日本感染症学会総会. 2016, 4, 15. Vol. 90, 臨時増刊号 p155.
- 12 ○山田友子, 濱田洋平, 曲淵裕樹, 青木洋介: 当院での補助人工心臓使用8例における感染性合併症の観察研究. 第90回日本感染症学会総会・学術講演会. 2016, 4, 15-16. 感染症学雑誌 90, 336.

地方規模の学会

- 1 青木洋介: よりよく考えるには: 診断学再考 (会長講演). 第64回日本化学療法学会西日本支部総会. 2016, 11, 24-26. 抄録集.
- 2 青木洋介: Antimicrobial stewardship program の実践. 第64回日本化学療法学会西日本支部総会. 2016, 11, 24-26. 抄録集.
- 3 青木洋介: 診断アプローチにおいて教訓となった事例 (司会). 第64回日本化学療法学会西日本支部総会. 2016, 11, 24-26. 抄録集.
- 4 青木洋介: 診断推論の思考システム: 呼吸器感染症 Case study. 第63回日本化学療法学会東日本支部総会教育セミナー. 2016, 10, 27. 抄録集.
- 5 青木洋介: 市中重症感染症の初期診療における診断学的留意点. 第57回日本内科学会九州支部生涯教育講演会. 2016, 11, 20. 抄録集.

- 6 浦上宗治：感染制御部薬剤師は感染症診療のどこまでコミットできるか. 第86回日本感染症学会西日本地方会学術集会・第59回日本感染症学会中日本地方会学術集会・第64回日本化学療法学会西日本支部総会. 2016, 11, 24-26. プログラム・抄録集 160.
- 7 浦上宗治, 濱田洋平, 於保恵, 草場耕二, 青木洋介：MALDI-TOF MSを用いたコアグラマーゼ陰性ブドウ球菌の血液培養検出症例に対する薬剤師の介入効果. 第86回日本感染症学会西日本地方会学術集会・第59回日本感染症学会中日本地方会学術集会・第64回日本化学療法学会西日本支部総会. 2016, 11, 24-26. プログラム・抄録集 381.
- 8 ○岡 祐介, 濱田洋平, 浦上宗治, 於保恵, 草場耕二, 青木洋介：髄膜刺激症状と錐体路障害を伴った肺炎の1例. 第86回日本感染症学会西日本地方会学術集会. 2016, 11, 26. プログラム抄録集 516, p232.
- 9 ○牧尾誠二郎, 濱田洋平, 浦上宗治, 於保恵, 草場耕二, 青木洋介：血液培養陽性検体での菌種推定が困難であった市中敗血症の1例. 第86回日本感染症学会西日本地方会学術集会. 2016, 11, 26. プログラム抄録集 510, p229.

その他の学会

- 1 青木洋介：医療機関における感染制御のエッセンス. 国保水俣市立総合医療センター院内講演会. 2016, 1, 14.
- 2 青木洋介：抗菌薬治療におけるARCの留意点. Advanced Interactive Seminar in 広島. 2016, 1, 15.
- 3 青木洋介：抗菌薬の適正使用：薬剤の選択と投与計画. 平成26年度院内感染対策講習会②. 2016, 1, 26.
- 4 青木洋介：我が国の感染対策の基本的課題：耐性菌問題を含めて. 平成27年度衛生薬業センター健康危機管理研修. 2016, 2, 5.
- 5 青木洋介：臨床医の思考過程と認知科学. 第20回九州化学療法研究会学術講演会. 2016, 2, 6.
- 6 青木洋介：抗菌薬処方：慣習的投与が地域医療にもたらす脅威. 唐津赤十字病院院内感染対策講演会. 2016, 2, 22.
- 7 青木洋介：抗菌薬適正使用：Antimicrobial Stewardshipの推進. 平成27年度院内感染対策講習会①. 2016, 2, 23.
- 8 青木洋介：診断エラーを避けるための考え方. 第44回IDATEN Interactive Conference. 2016, 3, 5.
- 9 青木洋介：感染症診療のQualityとTechnology. 第3回西日本MALDI Biotyperセミナー. 2016, 3, 27.
- 10 青木洋介：抗菌薬の適正使用：薬剤の選択と投与計画要否・選択・効果判定が感染制御を左右する. 第4回福井県感染制御研究会. 2016, 4, 26.
- 11 青木洋介：重症感染症の初期臨床像. 北海道感染症治療セミナー. 2016, 5, 21.
- 12 青木洋介：ブドウ球菌感染症の診断的論考：How to think is more important than what to know. 大山感染症フォーラム. 2016, 5, 28.
- 13 青木洋介：Professional Failure：なぜ診断を誤るのか. 広島西部地区クリニカルカンファレンス. 2016, 7, 1.
- 14 青木洋介：感染症診療のCognitive strategy. 石川県臨床感染症カンファレンス. 2016, 7, 9.

- 15 青木洋介：不明熱の診断アプローチ. 感染症 Today：ラジオ NIKKEI. 2016, 7, 30.
- 16 青木洋介, 浦上宗治：行動変容につながる Antimicrobial Stewardship. シオノギ Web カンファレンス. 2016, 8, 4.
- 17 青木洋介：災害時の感染対策：標準予防策とリスクコミュニケーション. 平成28年度佐賀県医師会医療安全・院内感染防止医療従事者研修会. 2016, 8, 25.
- 18 青木洋介：肺炎球菌感染症：ワクチンによる septic vasculopathy の予防戦略. 沖縄県中部地区医師会学術講演会. 2016, 8, 30.
- 19 青木洋介：入院患者の発熱：なぜ抗菌薬を投与するのでしょうか. 札幌医科大学附属病院感染対策講習会. 2016, 9, 12.
- 20 青木洋介：抗菌薬化学療法の意思決定：Intuition and Analysis. 第20回長崎化学療法研究会. 2016, 9, 16.
- 21 青木洋介：感染制御：Human relations と人材育成. 平成28年度感染管理エキスパートナース研修. 2016, 9, 29.
- 22 青木洋介：佐賀県における HIV 診療の実情と私たちの取り組み. 第28回つきじ放射線研究会. 2016, 10, 1.
- 23 青木洋介：癌患者における周術期感染症コンサルテーション. 感染症インターネット講演会. 2016, 10, 17.
- 24 青木洋介：適切な感染症診療のための検査選択と結果の解釈. 第10回長崎県臨床微生物研究会. 2016, 10, 22.
- 25 青木洋介：Antimicrobial Stewardship：抗菌薬の適正使用に向けて. 平成28年度 ICD 特別講習会. 2016, 11, 3.
- 26 青木洋介：臨床医からお伝えしたいこと. 医療通訳サポーター養成講座. 2016, 11, 10.
- 27 青木洋介：呼吸器感染症の原因菌類推と抗菌薬選択：Impression vs. Judgment. 第6回鹿児島呼吸器感染症研究会. 2016, 11, 11.
- 28 青木洋介：重症市中敗血症・肺炎の回避：肺炎球菌ワクチンの正しい理解のために. 北九州地区病診連携セミナー. 2016, 11, 17.
- 29 青木洋介：日和見感染症における抗菌薬治療の留意点：A doctor as an editor. 第29回信州日和見感染懇話会. 2016, 12, 3.
- 30 青木洋介：肺炎球菌性肺血症の Best Practice. 第9回久留米感染症カンファレンス. 2016, 12, 5.
- 31 青木洋介：日常診療で遭遇することの多いウイルス感染症. 第29回山口県感染制御薬剤師教育セミナー. 2016, 12, 10.
- 32 浦上宗治：HIV 治療中に労作時の息切れと下腿浮腫を認めた51歳・男性. 第13回九州抗 HIV 薬勉強会. 2016, 10, 15.
- 33 浦上宗治：チーム医療で実践する, Antibiotic Stewardship (抗菌薬適正使用支援). 第21回いわき感染対策フォーラム. 2016, 9, 29.
- 34 浦上宗治：HIV/AIDS における服薬支援. 平成28年度 HIV 検査相談支援研修会. 2016, 7, 14.
- 35 浦上宗治：薬学的特徴からみたダプトマイシンの適応と実際. 佐賀院内感染症研究会. 2016, 5, 13.

- 36 浦上宗治：薬剤師による感染症コンサルテーションの進め方. 明治薬科大学 病院薬学コース特別講演会. 2016, 2, 6.
- 37 濱田洋平：入院患者の発熱の考え方と抗菌薬適正使用. 第8回感染症研修会. 2016, 3, 1.
- 38 濱田洋平：民間療法に傾倒し抗 HIV 薬治療薬を拒否した後に, カポジ肉腫を発症した AIDS 症例. 平成27年度エイズ対策研修会. 2016, 3, 11.
- 39 濱田洋平：発熱, 頭痛, 咳嗽で受診した16歳男子. 大山感染症フォーラム. 2016, 5, 28.
- 40 濱田洋平：よい感染症診療を提供する病院を目指して. 国立病院機構都城医療センター感染管理研修. 2016, 7, 21.
- 41 濱田洋平, 青木洋介：ワークショップ2 呼吸器感染症(感染対策)症例検討およびディスカッション. 感染症サマースクール2016. 2016, 8, 5.
- 42 濱田洋平, 青木洋介：抗菌薬治療中に再度感染増悪兆候を認めた79歳男性. 第39回抗菌薬適正使用生涯教育セミナー. 2016, 8, 27.
- 43 濱田洋平：尿路感染症における原因菌の疫学的調査. 第11回北部九州感染制御研究会. 2016, 9, 17.
- 44 濱田洋平：Infection control team の役割. 国立病院機構平成28年度院内感染対策研修会. 2016, 11, 16.
- 45 濱田洋平, 中迫正臣, 三原由起子：佐賀大学医学部附属病院に入院した AIDS 患者2例. 平成28年度エイズ対策研修会. 2016, 12, 19.